

学位論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 第12号		
所属	保健学専攻 生涯保健学分野 成人保健学領域	氏名	田中 佐千恵
学位論文題目	Effects of Early-Stage Group Psychoeducation Programme for Patients with Depression (うつ病患者に対する早期集団心理教育プログラムの効果)		
論文審査担当者	主査 埴原 秋児 副査 上村 智子 , 小林 正義		
(学位論文審査の結果の要旨)			
<p>「うつ病患者に対する早期集団心理教育プログラムの効果」と題した本研究は、集団精神療法と心理教育を組み合わせた「集団心理教育プログラム」を開発するとともに、入院早期のうつ病患者を対象にその効果を検討したものである。本研究は、入院中に実施する短期間のプログラム（週に1回、入院期間中に計2～3回の参加程度）であっても、うつ病患者に対し、混乱した思考を整理し、疾病への理解を促し、抑うつ感や焦りを軽減させ、意欲・活力、回復感の向上が得られるなど主観的症状の改善を促し、精神療法的効果があることを明らかにした。</p> <p>入院早期から、リハビリテーションプログラムとして集団心理教育を実施した報告はこれまでになく、本研究は独創的な取り組みと言える。また、小集団という治療構造のなかで、患者同士の共有体験が得られやすく、メンバーの入れ替わりやグループの成熟度などの要素が働き、抑うつ気分や自身喪失感のあるうつ病患者にとって、心理教育を集団で行うことは有効であると思われる。研究のなかで「早期」を明確に定義していない点や、うつ病の重症度をHAM-Dなどの疾患特異的な客観的尺度で測定していない点には課題が残る。</p> <p>本研究は、短期間の集団心理教育であっても重症患者を多く含む入院患者で治療効果が認められることを示した。本研究で行った集団心理教育プログラムは期間回数とも短期であり、外来通院中のうつ病患者に対してさらなる応用が期待できる。</p> <p>以上のように、本研究の成果は、今後のうつ病治療への応用が期待できるものであり、主査、副査は一致して本論文を学位論文として価値があるものと認めた。</p>			